



認定審査報告書の様式改定及び 発行の運用変更について

2018年1月22日

公益財団法人 日本適合性認定協会
認定センター

-
- 認定審査報告書の様式改定及び発行の運用変更
 - 運用開始：2017年9月1日
(2017年8月24日付 17-認シス第0161号)

認定審査報告書様式改定の目的

- 認定審査のあり方を見直し、認定審査の有効性を改善する
 - 認定審査報告書作成にかかる時間を短縮、**本来行うべき検証**に時間をかけること
 - 審査のバラツキをなくすこと、審査員が機関の**問題点を認識し、審査時間内に指摘**できること
 - **戦略的**な認定審査の実施を可能にすること(審査実施、認定審査プログラムを充実させる)
 - IAF MD17対応(立会い分離)

- ➔ 認定審査報告書の合理化と、審査の効率化を目指す

- 認定の決定、及びレビューの**焦点を明確化し、厳格かつ合理的な判定**を行う
 - 各審査の**焦点(重点検証事項及びその結果の特筆すべき点)**を浮き彫りにする。

認定審査報告書様式改定のコンセプト

認定の決定、維持の判断のカギとなる**重要情報を表面化**

- 審査結果を簡潔に、審査の焦点と評価の要旨が見やすい様式に
 - 審査記録の冗長な記述、評価したエビデンスの列挙、添付書類の多用はしない
 - 分量は必要最小限、自力入力項目の削減(✓方式、選択・削除方式)

- 事務所審査、組織審査立会の目的に対応する確認範囲(JAB作業指示)の明確化

- 事務所審査と組織審査立会の分離に伴う報告書の分離

認定審査報告書発行の運用変更

□ 目的

- 認定審査結果の迅速な報告

□ 運用

- ~2017年8月末
 - 認定審査チームより提出された認定審査報告書等をJAB事務局でレビューした後、正式発行
 - 機関から意見があった場合、必要に応じ改定後再発行
- 2017年9月1日~
 - 認定審査チームより認証機関に直接認定審査報告書等を送付、事実内容の確認をいただく
 - 機関と認定審査チームの確認後、JAB事務局がレビューをし、正式版として発行
 - 正式版への修正は、原則行わない